

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 AOKIホールディングス

コード番号 8214 URL <http://www.aoki-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 青木 拓憲

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 中村 憲侍

TEL 045-941-4888

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	33,741	1.3	1,847	24.7	2,085	24.5	914	38.8
21年3月期第1四半期	34,172		2,454		2,761		1,493	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	21.43	
21年3月期第1四半期	32.56	32.54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	153,202	95,429	61.9	2,223.46
21年3月期	153,530	94,712	61.4	2,207.90

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 94,884百万円 21年3月期 94,221百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期		15.00		15.00	30.00
22年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	59,400	1.0	550	52.0	1,050	35.1	150	23.6	3.51
通期	133,700	1.2	7,800	19.3	8,700	17.6	3,400	2.5	79.67

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更	無
以外の変更	無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	49,124,752株	21年3月期	49,124,752株
期末自己株式数	22年3月期第1四半期	6,450,389株	21年3月期	6,449,846株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	42,674,643株	21年3月期第1四半期	45,886,115株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提等については、4ページ[定性的情報・財務諸表等]3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、前期後半からの世界的な金融危機等による急激な景気減速の影響などにより、企業業績、雇用や所得環境は引き続き厳しい状況で推移しており、個人消費についても、特に衣料関連は価格志向の強まりもあり低調に推移しております。

このような厳しい環境のなかで、当社グループは各事業において下記のような諸施策を実施いたしました結果、売上高は337億41百万円（前年同四半期比1.3%減）、営業利益は18億47百万円（前年同四半期比24.7%減）、経常利益は20億85百万円（前年同四半期比24.5%減）、四半期純利益は9億14百万円（前年同四半期比38.8%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、以下のとおりです。

（ファッション事業）

AOKIでは、引き続き仕事・旅行・礼装であてにされる店を目指すと同時に、経済環境やお客様のニーズの変化に迅速に対応してまいりました。

商品面におきましては、洗濯機で丸洗いでできる「プレミアムウォッシュシリーズ」を核商品と位置づけ、テレビCM・チラシ・売場作り・演出を強化しご提案した結果、お客様から大変ご好評をいただきました。店舗面では、今後の出店戦略において重要な地域である東京都心エリアの銀座への出店を含め14店舗を新規出店いたしました。特に銀座店は、オープン以来多くのビジネスマンのお客様にご来店いただき、好調に推移しております。また1店舗を閉鎖した結果、当第1四半期末の店舗数は426店舗（前期末413店舗）となりました。

ORIHICA（オリヒカ）は、ショッピングセンターの標準型店舗の磨き上げに注力するとともに、都心路面店と初の駅ビルへの出店計2店舗を実施し、当第1四半期末の店舗数は47店舗（前期末45店舗）となりました。

カジュアル衣料専門店M/X（エムエックス）は、平成21年10月1日に株式会社AOKIと合併し将来の成長に向けて準備を進めております。なお当第1四半期末の店舗数は36店舗（前期末37店舗）となっております。

これらの結果、新規出店店舗は順調に推移するものの、昨年来の急激な景気減速によるスーツ等の1品単価の低下による既存店の減収等により、売上高は224億63百万円（前年同四半期比4.6%減）、営業利益は8億11百万円（前年同四半期比56.0%減）となりました。

（アニヴェルセル・プライダル事業）

ゲストハウスウエディングスタイルの挙式披露宴施設を展開している株式会社ラヴィスは、すべてのお客様に心からご満足いただけるプライダルサービスをご提供するため、接客力の向上や提案力強化のための人財育成を推進するとともに、既存店を高い水準で維持するための諸施策を実施いたしました。

これらの結果、売上高は61億24百万円（前年同四半期比10.3%増）、営業利益は7億99百万円（前年同四半期比59.1%増）となりました。

（エンターテイメント事業）

カラオケルーム運営事業は、接客力向上や店舗美化を徹底するとともに、グランドメニュー刷新やシニア、ファミリー等ターゲットを明確にした和風メニューを投入し顧客満足の向上に努めましたが、急激な景気減速に伴い深夜帯を中心とした社会人の集客に苦戦いたしました。複合カフェ運営事業は、顧客ニーズを取り入れた高機能パソコンの導入や店舗状況に合わせて施設料金を適正価格へと見直いたしました。また、グランドメニュー刷新に合わせ、全店舗で『500円ランチ』を導入したことにより30代から50代の社会人の利用が増加し、フード売上が好調に推移いたしました。店舗面では、カラオケルーム運営事業で2店舗、複合カフェ運営事業で4店舗の新規出店と18店舗のリニューアルを実施する一方、複合カフェ運営事業で1店舗を閉鎖いたしました。この結果、当第1四半期末の店舗数はカラオケルーム運営事業で109店舗（前期末107店舗）、複合カフェ運営事業で113店舗（前期末110店舗）となりました。

これらの結果、売上高は51億59百万円（前年同四半期比1.3%増）、営業利益は2億6百万円（前年同四半期比161.3%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、新規出店や季節的要因等により、売掛金が2億52百万円、たな卸資産が9億14百万円増加した一方、設備投資や法人税等の支払い等により現金及び預金が27億80百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ6億47百万円減少いたしました。固定資産は、新規出店等による建物及び構築物が4億43百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ3億20百万円増加いたしました。

(負債)

流動負債は、法人税等の支払いによる未払法人税等が40億77百万円減少した一方、運転資金のための短期借入金が49億円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ9億66百万円増加いたしました。固定負債は、長期借入金が20億24百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ20億11百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産の部は、投資有価証券の時価評価によりその他有価証券評価差額金が3億89百万円、四半期純利益等による利益剰余金が2億74百万円増加したこと等により7億17百万円増加しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、概ね平成21年5月15日の決算発表時に開示した計画どおり推移しており、業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

(棚卸資産の評価方法)

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、一部の連結子会社において実地棚卸を省略し、前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断については、当社及び一部の連結子会社において、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社において当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,030	14,810
売掛金	5,068	4,816
たな卸資産	16,815	15,900
その他	5,433	4,466
貸倒引当金	6	5
流動資産合計	39,341	39,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,476	40,033
土地	26,563	26,563
その他(純額)	7,292	7,778
有形固定資産合計	74,333	74,375
無形固定資産		
投資その他の資産	4,040	4,074
差入保証金	10,370	10,483
敷金	15,172	15,095
その他	10,030	9,596
貸倒引当金	84	85
投資その他の資産合計	35,488	35,090
固定資産合計	113,861	113,541
資産合計	153,202	153,530
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,573	14,130
短期借入金	7,900	3,000
1年内償還予定の社債	820	820
1年内返済予定の長期借入金	6,484	6,847
未払法人税等	509	4,587
賞与引当金	635	1,182
役員賞与引当金	71	100
その他	7,786	7,147
流動負債合計	38,781	37,815
固定負債		
社債	670	670
長期借入金	11,976	14,000
退職給付引当金	525	463
役員退職慰労引当金	891	902
ポイント引当金	607	604
負ののれん	2,115	2,211
その他	2,204	2,150
固定負債合計	18,991	21,003
負債合計	57,773	58,818

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	24,788	24,788
利益剰余金	53,628	53,354
自己株式	7,076	7,076
株主資本合計	94,622	94,348
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	262	127
評価・換算差額等合計	262	127
新株予約権	544	490
純資産合計	95,429	94,712
負債純資産合計	153,202	153,530

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	34,172	33,741
売上原価	18,234	18,282
売上総利益	15,937	15,458
販売費及び一般管理費	13,483	13,611
営業利益	2,454	1,847
営業外収益		
受取利息	19	19
受取配当金	47	25
不動産賃貸料	225	209
負ののれん償却額	243	243
その他	135	71
営業外収益合計	671	568
営業外費用		
支払利息	61	80
不動産賃貸費用	217	204
その他	84	45
営業外費用合計	364	330
経常利益	2,761	2,085
特別利益		
固定資産売却益	1	-
補助金収入	-	5
その他	-	0
特別利益合計	1	6
特別損失		
差入保証金・敷金解約損	-	24
固定資産除却損	29	42
減損損失	-	22
過年度退職給付費用	-	48
その他	0	8
特別損失合計	29	146
税金等調整前四半期純利益	2,733	1,945
法人税等	1,239	1,031
四半期純利益	1,493	914

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,733	1,945
減価償却費	1,133	1,241
減損損失	-	22
のれん償却額	189	146
負ののれん償却額	243	243
退職給付引当金の増減額(は減少)	17	62
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	9	10
ポイント引当金の増減額(は減少)	37	3
受取利息及び受取配当金	67	44
支払利息	61	80
差入保証金・敷金解約損	-	24
固定資産除却損	12	24
売上債権の増減額(は増加)	152	252
たな卸資産の増減額(は増加)	574	914
仕入債務の増減額(は減少)	492	68
その他	41	308
小計	3,501	2,326
利息及び配当金の受取額	55	31
利息の支払額	59	101
法人税等の支払額	4,672	5,304
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,175	3,048
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,578	903
無形固定資産の取得による支出	208	43
敷金及び保証金の差入による支出	711	302
投資有価証券の取得による支出	291	-
信託受益権の純増減額(は増加)	78	315
その他	106	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,605	1,530
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	400	4,900
長期借入金の返済による支出	1,412	2,387
社債の償還による支出	700	-
自己株式の処分による収入	22	-
自己株式の取得による支出	2	0
配当金の支払額	648	626
少数株主への配当金の支払額	37	-
その他	16	87
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,394	1,798
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	6,175	2,780
現金及び現金同等物の期首残高	17,254	14,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,078	11,530

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	ファッション事業 (百万円)	アニヴェルセル・ブライダル事業 (百万円)	エンターテイメント事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	23,534	5,547	5,090	34,172		34,172
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	0	3	0	4	(4)	
計	23,534	5,551	5,091	34,176	(4)	34,172
営業利益	1,845	502	79	2,426	27	2,454

(注) 1 事業区分は、商品の種類・性質等の類似性を考慮して区別しております。

2 各事業区分の主要な内容

ファッション事業..... スーツ等主にメンズ衣料の販売

アニヴェルセル・ブライダル事業..... ブライダル関連のサービス等の提供

エンターテイメント事業..... カラオケルーム等のエンターテイメント施設の運営

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	ファッション事業 (百万円)	アニヴェルセル・ブライダル事業 (百万円)	エンターテイメント事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	22,460	6,121	5,159	33,741		33,741
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2	2	0	5	(5)	
計	22,463	6,124	5,159	33,746	(5)	33,741
営業利益	811	799	206	1,817	30	1,847

(注) 1 事業区分は、商品の種類・性質等の類似性を考慮して区別しております。

2 各事業区分の主要な内容

ファッション事業..... スーツ等主にメンズ衣料の販売

アニヴェルセル・ブライダル事業..... ブライダル関連のサービス等の提供

エンターテイメント事業..... カラオケルーム等のエンターテイメント施設の運営

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)において本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)において海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

該当事項はありません。